



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月12日

上場会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6092 URL <http://enbio-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 賀一 TEL 03 (5297) 7155  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	521	61.3	3	-	△2	-	△5	-
27年3月期第1四半期	323	-	△18	-	△25	-	△20	-

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △4百万円 (-%) 27年3月期第1四半期 △22百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△1.21	-
27年3月期第1四半期	△4.99	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	4,315	1,434	33.2	345.37
27年3月期	3,719	1,438	38.7	346.60

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,434百万円 27年3月期 1,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,684	35.6	268	294.5	260	449.4	172	-	41.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	4,154,200株	27年3月期	4,149,200株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	4,152,607株	27年3月期1Q	4,055,189株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成27年8月11日付にて四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策などを背景に円安や株高が進み、輸出関連企業を中心とした企業業績の改善や、公共投資の増加等から緩やかな回復基調にありました。一方、世界経済は、米国では景気は緩やかな拡大傾向にありますが、欧州諸国の政府債務リスクの長期化や中国をはじめとする新興国経済の先行き不透明感も強く、日本経済にとっては下振れ要因を抱えた状態で推移いたしました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、部分的ではあるものの地価の下落基調からの転換の動きは持続的なものになり、また住宅市場においては、このところ前年同月比で減少が続いていました新設住宅着工数は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れており、足下では前年同月比で増加に転じました。一方、建設市場においては、建設技能者の不足に伴う労務費の上昇や原材料価格の上昇など、一部懸念材料を抱えた状態で推移してまいりました。

持分法適用会社を展開する中国では、昨年、工場跡地の再開発に伴う土壌汚染対策に関する通達、土壌汚染に関する調査、リスク評価、修復及びモニタリングのガイドライン、企業の土壌汚染調査・修復のガイドライン（試行）などが公表され、法整備に向けた動きが進んでいます。

このような背景のもと、土壌汚染対策事業を中心にグループの総合力を活かして、土壌汚染関連機器・資材販売事業やブラウンフィールド活用事業を積極的に展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は521,473千円（前年同四半期比61.3%増）となり、経常損失2,935千円（前年同四半期は経常損失25,091千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5,027千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失20,254千円）となりました。

以下に各セグメントの状況を報告いたします。

#### ①土壌汚染対策事業

国内については、営業体制の強化及びグループ会社間の連携による情報収集の強化など、新規顧客及び新たな需要の開拓に注力してまいりました。

中国については、前期に実施した調査工事から発展した浄化工事の受注活動、新たな案件の情報収集に注力いたしましたが、浄化工事の受注が当第2四半期以降にずれ込んだため持分法投資損益として5,602千円の損失を計上しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は278,568千円（前年同四半期比145.1%増）となり、セグメント利益は7,973千円（前年同四半期はセグメント損失24,988千円）となりました。

#### ②土壌汚染関連機器・資材販売事業

地下水揚水ポンプを利用する汚染浄化案件の受注が少なく、そのため土壌汚染関連機器・資材の販売が伸び悩みました。また、太陽光発電による電力の買い取り価格が下がったため、太陽光発電所の建設が停滞し、太陽光パネル設置架台及び杭の販売が伸び悩みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は78,833千円（前年同四半期比56.2%減）となり、セグメント損失は2,609千円（前年同四半期はセグメント利益23,472千円）となりました。

#### ③ブラウンフィールド活用事業

大手不動産仲介業、日本クリーニング環境保全センター等の業界団体、破産管財人及び金融機関などからの情報収集やグループ企業間の連携により仕入活動を強化するとともに浄化等が完了した物件の販売を行いました。

ブラウンフィールド活用策の一つとして参入した太陽光発電事業については、宮城県角田市（12～3月売電開始予定）及び岡山県久米郡（10月売電開始予定）において発電所の建設を着工しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は164,071千円（前年同四半期比453.9%増）となり、セグメント利益は10,326千円（前年同四半期はセグメント損失1,575千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、総資産は、4,315,569千円となり、前連結会計年度末に比べ595,682千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が307,378千円、土地・建物等の取得により有形固定資産が499,867千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が233,851千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、2,880,822千円と前連結会計年度末に比べ599,034千円増加いたしました。これは主に長期借入金790,208千円増加した一方で、短期借入金230,000千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、1,434,747千円と前連結会計年度末に比べ3,351千円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使請求に伴う新株発行により資本金と資本準備金が600千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が5,027千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の移動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、重要性が増したヴェガ・ソーラー合同会社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への組換えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064,174	1,371,552
受取手形及び売掛金	539,298	305,446
たな卸資産	422,747	389,084
その他	77,209	89,714
貸倒引当金	△3,603	△1,991
流動資産合計	2,099,826	2,153,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,340	43,741
機械装置及び運搬具(純額)	11,512	10,460
土地	184,566	184,566
建設仮勘定	1,033,357	1,535,147
その他(純額)	3,076	2,803
有形固定資産合計	1,276,852	1,776,720
無形固定資産	32,707	35,800
投資その他の資産	310,499	330,001
固定資産合計	1,620,059	2,142,521
繰延資産	-	19,239
資産合計	3,719,886	4,315,569
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	213,073	192,720
短期借入金	450,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	86,852	119,248
その他	63,588	90,477
流動負債合計	813,514	622,446
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,354,238	2,144,446
その他	14,036	13,930
固定負債合計	1,468,274	2,258,376
負債合計	2,281,788	2,880,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	429,782	430,382
資本剰余金	501,929	502,529
利益剰余金	483,163	478,136
株主資本合計	1,414,875	1,411,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	300
繰延ヘッジ損益	518	250
為替換算調整勘定	22,863	23,147
その他の包括利益累計額合計	23,223	23,698
純資産合計	1,438,098	1,434,747
負債純資産合計	3,719,886	4,315,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	323,278	521,473
売上原価	229,174	385,633
売上総利益	94,103	135,839
販売費及び一般管理費	112,682	132,243
営業利益又は営業損失(△)	△18,578	3,595
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	86
為替差益	1,291	2,252
その他	237	462
営業外収益合計	1,593	2,801
営業外費用		
支払利息	1,778	1,728
持分法による投資損失	4,610	5,602
その他	1,717	2,001
営業外費用合計	8,107	9,333
経常損失(△)	△25,091	△2,935
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,091	△2,935
法人税、住民税及び事業税	3,038	4,563
法人税等調整額	△7,876	△2,422
法人税等合計	△4,837	2,141
四半期純損失(△)	△20,254	△5,077
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△50
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,254	△5,027



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△20,254	△5,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	459
繰延ヘッジ損益	△123	△268
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,213	284
その他の包括利益合計	△2,105	475
四半期包括利益	△22,359	△4,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,359	△4,551
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	土壌汚染関連 機器・資材販 売事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,675	179,979	29,623	323,278	-	323,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,673	2,870	131	16,675	△16,675	-
計	127,348	182,850	29,755	339,954	△16,675	323,278
セグメント利益又は損失(△)	△24,988	23,472	△1,575	△3,092	△21,999	△25,091

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△89,424千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益67,424千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	土壌汚染関連 機器・資材販 売事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	278,568	78,833	164,071	521,473	-	521,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	77,363	-	77,418	△77,418	-
計	278,623	156,197	164,071	598,891	△77,418	521,473
セグメント利益又は損失(△)	7,973	△2,609	10,326	15,690	△18,626	△2,935

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△87,084千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益68,457千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。